

2025 ～ 2026 年度国際ロータリーのテーマ

U N I T E F O R G O O D

●会長 堤 勝也
●幹事 草村安宏

 No.1928 令和 08 年 01 月 28 日 第 24 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～
 ※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内
 ※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053
 ※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org



■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■ロータリーソング

「我等の生業」

(ソングリーダー 古田哲朗)



■会長の時間

(会長 堤 勝也)



◆ 冒頭にあたり、先ほどのロータリー情報の時間を拝聴し、「真のロータリアン」への道はまだ遠いものだと、改めて自分自身感じました。おそらく一生かかっても、その境地に完全に到達することはできないのだろうと、あえて皆さまに宣言させていただきます。

◆ だからこそ本年度は、少しでも「真のロータリアン」に近づけるような活動を意識しながら、一年間取り組んでいきたいと考えております。

◆ 本題とは少し離れますが、先週、小畑会員より国際大会2日目夜に開催予定の「地区ナイト」についてご案内がありました。現在、各クラブにおいて参加・不参加が分かれている状況とのことで、本日は時間をお借りして、この件について皆さまと意見を共有したいと考えています。

◆ 彌富会員からも連絡があり、やり取りを行いました。台湾では3日間にわたり夜の食事会やパーティーのほか、ゴルフの案内も予定されているとのことです。日程については、2泊3日または3泊4日が想定されており、早めに参加人数を確定し、先方へ連絡する必要があります。

◆ 残された時間も限られていることから、本日の会長の時間を活用し、皆さまと方向性を詰めていければと考えています。

■ 幹事報告

(幹事 草村 安宏)



■ 来信案内

1)
 藤田千克由 ガバナー、前田眞実 第18回全国RYLA研究会実行委員長、上野公則 副実行委員長より、第18回全国RYLA研究会大分会議 登録のお願い。
 『登録数は現時点で地区内19名と、動員にいささか苦戦しております。そこで再度お願いですが、各クラブを代表して最低1名(会員であれば誰でも構いません)のご参加をいただければ幸甚に存じます。』(2/10まで)

日 時・・・2026年4月11日(土)
 本会議 13:00～18:00 ホルトホール(登録料¥8,000)
 懇親会 19:00～20:30 レンブラントホテル(登録料12,000)
 どちらか一つの登録でも構いません。

2)
 波多野雄治 大会事務局より、第5回 藤田千克由ガバナー杯争奪野球大会開催について。

藤田千克由ガバナー杯争奪野球大会
 日 時：2026年4月18日(土曜日)9時～
 場 所：別府市野口原軟式球場A・Bグラウンド
 (別府市大字別府3088-9)
 前夜祭

日 時：2026年4月17日(金曜日)19時～
 場 所：ホテルサンバリーアネックス

3)
 藤田千克由ガバナー、上野公則 青少年奉仕部門長、上野聖顕 地区ローターアクト代表、緒方理彩 熊本グリーンローターアクトクラブ国際交流会実行委員長より、ローターアクト「2025-2026年度国際交流会」の案内。

開催日：2026年3月21日(土)13:00～16:00
 開催会場：くまもと県民交流館パレア 9階 会議室1
 メインプログラム：いちご大福作りおよび防災と食に関する卓話

4)
 日田中央RCより、創立50周年記念式典の案内。

日時 2026年4月25日(土)

式典 16:00~

祝賀会 17:30~

会場 マリエールオークバイン日田

登録料 15,000円

■クラブより

1)

第7回定例理事会報告。

1. 奉仕プロジェクト委員長選出の件

(前日出夫直前会長退会により)

【幹事が兼任する】

2. 米山世話クラブ募集の件

(応募する場合はカウンセラーの選出が必要)

【応募する】

【カウンセラー 山田公也 会員、生駒ちあき 会員、宮川義行 会員】

3. IMの発表者(「ロータリーに入会して」3分間)の件

【片岡貞志 会員】

4. 2月18日(水)例会プログラムの件

【国際奉仕委員会卓話を新会員卓話に変更する】

【新会員卓話担当 平城大海 会員(15分)・片岡正和 会員(15分)】

2)

本日の例会終了後に、第5回臨時理事会を開催いたします。

3)

来週の例会は、2月4日(水)から2月6日(金)に変更して職場訪問例会を開催いたします。

職場訪問は、「お菓子の香梅 阿蘇西原工場」(10:20 現地集合)、例会は、「グランメッセレストラン オーシャンズセブン」(12:00 食事スタート)となっております。

よろしくお願いいたします。

■今後の地区行事

開催日	行事名	場所	会場	出席者
2026年 02月14日(日)	地区チーム・ラーニングセミナー	熊本県 人吉市	人吉カルチャーパレス / ホテルサン人吉	
03月07日(土) 03月08日(日)	会長エレクトラーニングセミナー(PELS)	熊本県 人吉市	人吉カルチャーパレス / あゆの里	福井学
04月11日(土)	第18回全国RYLA研究会 大分会議	大分県 大分市	ホルトホール / レンブラントホテル	

■ロータリー情報の時間

(ロータリー情報担当委員 白木誠一)

◆ 今月は「職業奉仕月間」ということで、『ロータリーの友』を拝見しました。その中で、創立75周年を迎えた福島ロータリークラブの記事が掲載されており、「ワークウェア例会～仲間の仕事をもっと身近に～」というテーマが紹介されていました。

◆ 記事の中には、「4つのテストを仕事にどう応用するか」という内容があり、裁判官の仕事为例にした説明がありました。裁判官や弁護士は、当事者や依頼者の主張が真実であるかどうかを、必ず証拠の有無によって吟味し判断します。



◆ また「みんなに公平か」という点については、公平とは当事者双方を差別しないこと、公正とは当事者と特別な身分関係や利害関係を持たないことと説明されており、裁判において不可欠な姿勢であると述べられていました。

◆ こうした考え方を、自身の仕事である不動産仲介に置き換えて考えてみました。これまで企業向け不動産の仲介、とくに大規模な土地取引を数多く手がけてきましたが、地権者が5人、10人という場合、仲介成立の要因は必ずしも土地価格だけではなかったと感じています。

◆ 地権者の方々は、土地を手放した後の税金の問題や、売却代金の使い道、家庭内での影響など、さまざまな事情や不安を抱えています。中には、売却後に家族が散財してしまったという話や、農地を手放すことで家業や仕事失われることを懸念されるケースもありました。

◆ そうした背景を丁寧に伺い、相手の立場に立って話を重ねていくことで、考え方や本音が少しずつ見えてきます。その上で、譲渡税や相続税の試算を行ったり、売却資金の活用方法を提案したり、進出企業側に雇用の相談を行うなど、具体的な解決策につながったケースもありました。

◆ 振り返ると、「真実かどうか」「公平・公正であるか」という4つのテストの考え方を意識して仕事をしてきたことが、結果的に良いご縁につながったのではないかと感じています。

◆ 来月には、香梅様の工場見学を予定していますが、工場建設にあたっては、以前、別の場所(約1万坪)をご提案し、そこに決まりかけた経緯もありました。最終的には空港近くの立地を選ばれ、現在その土地は別企業の工場として活用されています。

◆ このように、一つひとつの判断の背景にはさまざまな事情があり、それを理解し尊重する姿勢こそが、職業奉仕の原点ではないかと改めて感じました。以上、ロータリー情報の時間としてお話しさせていただきました。

■委員会報告

(社会奉仕担当委員長 宮川義行)



今年最初の社会奉仕活動の、自転車贈呈支援が始まります。皆様、よろしくお願いいたします。

今年は、15施設 50台寄贈の予定です。

2014年4月、創立30周年記念事業としてスタートした施設の高校生通学用自転車寄贈支援事業も12年目を迎えました。

毎年遠隔地水保、八代を引き受けて頂いている沼田会員、ありがとうございます。

今年は、天草を松岡会員、山鹿を彌富会員が引き受けてくれました。よろしくお願いいたします。

1月24日の補助金管理セミナーに参加された福井会員と片岡貞志会員もお疲れ様でした。ありがとうございました。

地区と覚書を交わし、受給計画書提出、地区補助金の申請、熊本県養護協議会会長の許可申請、施設に連絡、補助金送金依頼書提出。と、そのほとんどを白野さんをお願いしています。白野さん、いつもお世話になります。皆さん、施設への行き帰り、くれぐれもご安全に。よろしくお願いいたします。

■委員会報告

(職業奉仕担当委員長 古田哲朗)



職場訪問について
お菓子の香梅「阿蘇西原工場」
10時20分集合 時間厳守

■ 出席報告

(出席・プログラム担当委員長 渡邊俊一郎)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
01月14日	休会				
01月28日	37 (免1) 36	29 (ZOOM3)	-	-	80.56

☆出席免除

01月28日 島村徹男

■ スマイル

(親睦・スマイル担当委員 片岡正和)



◎宮川義行 5,000円

1月最後の週になりました。早いですね。先週例会の後、出田眼科で左眼に眼液注射をしました。アイリニア治療と言って、眼球の内出血を取り除く手術です。何度も麻酔をしたので、痛くはありませんでした。6年前に手術した時は注射1本5万円で、2ヶ月おきに4回しました。



保険がきかないそうです。今回は、看護師さんが安くなりましたよといったので期待していたら、1回4万円でした。今回は1度で治ったようで、ほっとしています。

4月には、右目の白内障の手術をします。この1年ほど右目が殆ど見えなかったのが、手術が楽しみです。いろんな人に話を聞くと、見たくないものまで見えるようになった。困ったもんだと言われて悩んでいます。透明の眼帯がありました。左眼手術後眼帯をはめると言われたので、右目も見えないのどうしようかと看護師さんに言うと、まかせなさい。うちには秘密兵器があります。と言って透明の眼帯をつけてくれました。大事に保存しています。

■ 卓話

●演題：職業奉仕出前セミナー
卓話者：古田 哲郎



職業奉仕出前セミナー(2025-26年度)

UNITE FOR GOOD

よいことのために手を取り合おう



職業奉仕部門長 古田哲郎

本日のセミナー内容

- ①自己紹介
- ②2025-26の職業奉仕部門テーマ
- ③職業奉仕(総論)
 - (1)職業奉仕を学ぶとは何か
 - (2)歴史からみた職業奉仕の中核は何か
 - (3)ロータリー倫理訓(道徳律)
 - (4)ロータリー通解
 - (5)決議23-34
 - (6)4つのテスト
- ④職業奉仕(各論)
- ⑤まとめ

①自己紹介

所属：熊本東南ロータリー
ロータリー歴：13年7カ月
職業分類：弁護士一般
ロータリーストーリー(ロータリーに入ってからよかったこと等)
：国際大会に行って、海外に行けた。
：先輩の生き様を学べた。
：ウクレレを弾く機会が増えて、ポイトレを始めるきっかけになった。

②2025-26の職業奉仕部門テーマ

一昨年は4つのテストの「真実かどうか」を掘り下げ、昨年は「みんなに公平か」を掘り下げるとともに「職業奉仕のウィーサーブ(クラブでおこなう職業奉仕)」に取り組んできた。

↓
個人的な癖で、どうしても小さいミクロの視点で物事をとらえる傾向がある。4つテストのひとつひとつに着目している部分はその傾向が特に現れている。部門長3年目になるので、もっと広い視点(マクロの視点)で職業奉仕を捉え直してみたい。

②職業奉仕部門のテーマ

そこで、2025-26年度の職業奉仕のテーマを

「輝け 職業奉仕」

としました。
出前セミナーを中心に、職業奉仕をしっかり捉え直して、金看板として輝かせたいという思いです。職業奉仕を総論と各論に分けて捉えてみます。

③職業奉仕(総論)

(1)職業奉仕を学ぶとは何か

(何のために学ぶのか・学ぶ目的・視点)

木下光一バスターガバナーから「2008-9年度職業奉仕セミナー(復刻再発行版)国際ロータリー第2680地区」が送られてきた。その内容は職業奉仕を「お金の儲け方を教える職業倫理運動」だと捉えながら、「奉仕の理想」を中心に全体像をしっかりとつかむ内容だった。

↓
職業奉仕を学ぶことは「経営学」を学ぶことであると明言していた。

そこで、このセミナーにおいて、いったんは職業奉仕とは「経営学」であると仮定して話を進めてみます。

